

第1回 自立支援に向けた ケアマネ・リハ職連携の事例勉強会 報告

事例テーマ：入院前の生活ができるようになりたい！脳梗塞後の支援の経過

2026年9月8日（火）19：00～20：30 姫路市医師会館 大ホールにて開催し、ケアマネジャー、リハビリ職を中心に多職種 38 名にご参加いただきました。

【研修目標】事例を共有しケアマネ・リハ職間で意見交換をすることで、それぞれの今後の目標設定や自立支援に向けた関わりに活かすことができるようになる

【勉強会の流れ】

実際の事例をとりあげ、リハ職との連携前までを**ケアマネさん**にお話しいただき、個人ワーク → グループで意見交換を行いました。その後、実際のケアマネとリハ職の連携、協働で行った自立支援と経過について**リハ職さん、ケアマネさん**にお話しいただきました。

【今回の事例提供者】**ケアマネジャー ケアプランやまの** **山野 敬子 氏**
リハ職（OT）リハビリセンター癒々 **中島 康太 氏**



中島さん

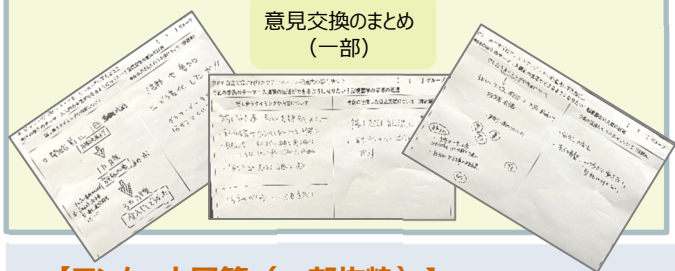


山野さん

「グループでの意見交換」

個人ワークを通して、「事例提供者に確認したいこと」、そして、リハ職との連携前の事例を聞いて、その後に「ケアマネ・リハ職と一緒に話し合いたいこと」、また、「自立支援に向けた連携」について各グループで話し合いました。意見交換と、その後の実際の事例の経過を聞くことで、自立支援に向けた連携について、多角的な情報を得る機会となりました。

意見交換のまとめ
(一部)



「連携によって得られたこと」もお話しいただきました

- ① **ケアマネ→リハ職**：生活歴、退院後の生活状況、本人・家族の思い
- ② **リハ職→ケアマネ**：身体機能や動作能力を評価し、実現可能な目標と具体的な練習内容へ変換
- ③ **協働で、目標設定**：「屋外を歩きたい」という思いを共通目標として共有
- ④ **協働で、実現可能な具体的計画の立案**：
訪問リハビリサービス時間を 40 分→60 分へ見直し、目標達成に必要なリハビリ量を確保
- ⑤ **連携に対する意識（連携のタイミング）**：
今後も支援は継続するので、より良い形になるように情報提供のスピードが重要

【アンケート回答（一部抜粋）】

- * リハ職の視点や業務について知ることができた。また実際にお会いできてよかった。同じ目標に向かって、多職種で問題や支援を擦り合わせていく事で、本人に対してもモチベーションや生活が変化していく事をあらためて実感しました（ケアマネ）
- * 普段自分たちが使っている言葉を他職種がどの程度理解されているか、どんな単語を選択すると良いか、リハ職・CM それぞれでどの様な情報を欲しているか、学ぶことができた（リハ職）
- * 目標を共有した上ではじめて連携支援ができると思いました。リハとしては、目標の妥当性、優先順位、必要性を改めて考慮し直し、目標設定・共有できるような環境を整えたいと思いました（リハ職）
- * 今後、プラン作成時、本人意向だけでなく、リハ職にも相談した上で目標設定をしていきたいと思います（ケアマネ）
- * 一人の利用者さんでも、職種によって見る方向や見えてくるのが違うので、いろんな方向からのすり合わせが大事なあと、改めて思いました（リハ職）